

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業評価結果

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	はっちょうとうげ 八丁峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：福岡県嘉穂郡嘉穂町大字大力 至：福岡県甘木市大字野鳥	延長	4.5 km		
事業概要	<p>一般国道322号は、福岡県の中央部を南北に縦断する道路で、北九州市を起点に筑豊地区を経て久留米市に至る延長約90 kmの幹線道路である。</p> <p>八丁峠は一次改築の成されていない急峻な地形であり、未改良区間や異常気象時通行規制区間の解消、及び冬季の積雪や路面凍結による通行規制の解消を目的とした延長4.5 kmの2車線道路である</p>				
事業の目的、必要性	<p>当該路線の目的である未改良区間、異常気象時通行規制区間の解消及び冬季の積雪、路面凍結による通行規制の解消を行い、走行性の向上、信頼性の確保、所要時間の短縮を図り、北部九州の物流拠点である北九州港、苅田港、新北九州空港と県南部及び南九州を結ぶ最短ルートとして物流効率化の支援および沿線地域の活性化に大きく寄与する事業である。</p>				
全体事業費	167 億円	計画交通量	7,200 台/日		



**関係する地方公共団体等の意見**  
 一般国道322号改修（トンネル）促進期成会（会長：嘉穂町長）より、国土交通本省、九州地方整備局、福岡県に対し毎年2回程度の整備促進の要望活動が行われている。  
 ※平成6年3月に国道322号八丁峠周辺の自治体17市町村にて発足

**事業採択の前提条件**  
 便益が費用を上回っている  
 円滑な事業執行の環境が整っている

費用対便益	全体事業費 B/C	2.2	総費用: 143 億円 事業費: 131億円 維持管理費: 12億円	総便益: 315 億円 走行時間短縮便益: 257億円 走行費用減少便益: 42億円 交通事故減少便益: 16億円	基準年 平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.98 (交通量 -10%)	B/C= 2.41 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C= 2.01 (事業費 +10%)	B/C= 2.42 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C= 2.03 (事業期間 +20%)	B/C= 2.37 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない。		
		事故対策	◎	死傷事故率が高い区間の事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】 単路部: 299.3件/億台キロ (現況) [福岡県平均比: 5.5倍] 交差点: 411.0件/億台キロ (現況) [福岡県平均比: 3.6倍] [福岡県平均 単路部: 54.5件/億台キロ 交差点: 114.0件/億台キロ]		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	◎	日常生活圏の拡大 (走行信頼性の確立と所要時間の短縮(約17分)で日常生活圏を拡大)		
		地域経済	◎	隘路解消により物流効率化の支援 (北部九州と県南地域及び南九州を結ぶ最短ルートを形成し物流の効率化を支援) 甘木ICへのアクセス性向上 (八丁峠整備により筑豊方面からの所要時間が約17分の短縮)		
		災害	◎	異常気象時通行規制区間の解消 (通行止め、通行規制を解消することで49百万円/年の損失を解消する。)		
		環境	○	沿道環境(SPM排出量)削減量: 1.4t/年 沿道環境(NO <sub>x</sub> 排出量)削減量: 15.7t/年		
		地域社会	○	主要な観光地へのアクセス向上 (主要な観光地である甘木(秋月城址) [観光入込客数106万人] のアクセスが向上する。 近隣の小石原 [観光入込客数63万人] 英彦山 [観光入込客数103万人] への周遊性も向上)		
	事業実施環境	○	一般国道322号改修(トンネル)促進期成会から積極的な要望活動が行われており、地元の期待も大きい。			

採択の理由

費用対便益は、2.2と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件は確認できる。  
 この道路整備により異常気象時通行規制区間及び冬季の通行規制の解消を行うことで、物流輸送の効率化、沿線地域の活性化が図られ、その整備効果は高いものと判断される。  
 また、延長4 kmの長大トンネルで計画ルート上に断層や軟弱化した脆弱地盤帯が想定され施工に際し高度な技術を要する。  
 以上より本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。